

昨年4月に桃花台学園に赴任し、これまで小中学部、高等部の設置されている特別支援学校での勤務が長かったこともあり、高校生段階の生徒のみが在籍し、専門学科による職業教育に特化した桃花台学園での勤務は、とても新鮮な毎日でした。この学校でいろいろな生徒達と出会えたことが私自身の成長になっていると感じています。

さて、本校開校から6年が経過し、令和という時代に移りかわって2年目、大きな希望を抱いて迎えた学校生活は、新型コロナウイルス感染症の蔓延という試練の1年間でした。長期にわたる臨時休業、夏休みの短縮、多くの行事が中止になり、3年生の修学旅行は2度延期になりました。学校は、感染症予防対策に追われ、混乱と戸惑いの中、生徒達全員が自分の目標に向かって歩みを止めることなく、ひたむきに着実に毎日の学校生活や就職に向けた現場実習に取り組んできました。生徒の友達と語り合う時の笑顔、授業に取り組む真摯な態度、現場実習で仕事に向かう時の真剣なまなざし……。そんな生徒達の姿を見ていると、応援しているのは私達教職員なのに、どれもが私達を、またこの桃花台学園を励まし勇気づけてくれているようでした。生徒達一人一人の若く、一心なエネルギーが桃花台学園の力なのだ強く感じた1年間でした。そして12月には3年生全員の進路が決まり、社会への入り口に到達することができました。3学期から通知のあった順に校長室で内定通知書を渡しています。4月からの決意をしっかりと言葉で語ってくれる姿に、一緒に参加している学年主任や担任の先生方が目頭を押さえているのを見ると、この3年間、日々努力し、成長してきたことが伝わってきます。新たな人生のステージを迎える卒業生の皆さんには、正々堂々胸を張って、強く社会人としての道を進んでほしいと願っています。1, 2年生は、卒業生を目標とし後輩の見本となれるよう新年度からの活躍を期待しています。

今年度は特別な1年となりましたが、感染予防に万全を期しながら、できることはやっていくという方針で教育活動を進めてきました。生徒の皆さんにとっては、やりたいことができなくて残念だったことも多かったのではないかと思います。それでも先生方は皆さんが前を向いて未来への夢をもち、また、桃花台学園での学校生活を通して、生徒全員が「学校で自分が大切に、大事にされている」という想いを感じられるよう、卒業する時に「学校で大切にされてきた」という想いが残るよう頑張っています。生徒の皆さんには、自分を大切に、仲間を思いやり、毎日の学校生活が充実したものとなるよう一日一日を大切に、自立への力を蓄えるようにしましょう。積み重ねた努力は必ず実を結びます。「功は舎めざるにあり」。



あとがき

思えば今年度は新型コロナウイルスに翻弄された1年でした。臨時休業から始まり、5月25日に学校は再開しましたが、感染リスク回避の措置を講じて学習活動の中止・延期・規模縮小など試行錯誤を繰り返しながら進めてきました。おかげさまで感染者を出すことなく、年度末を迎えられそうです。これも保護者をはじめ多くの関係者の皆様に支えて頂いたおかげだと思います。今後もコロナ禍は続きますが、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



CHALLENGE Toukadai

『蒼穹に向かって』

3学年主任 岡 真由美

1月の張りつめた冷たい空気の中、36人の生徒たちは、それぞれの想いを胸に勝沼の大善寺で座禅を組んだ。延期を重ね、沖縄から関西そして山梨へと目的地を変えて、ようやく実施できた修学旅行の1シーン。たった2日間の旅だったが、学生時代の煌めく思い出となったことを、生徒たちの弾ける笑顔が物語っていた。白百合醸造で自作のラベルを貼った赤ワインを二十歳で開ける時、この旅行と仲間のことを懐かしんでほしい。

ちょっとのんびりしていて甘えん坊が多い学年だった。でも、1年生の頃から就職に向けた取り組みになると、表情が引き締まり地道に努力する姿に何度も感心させられてきた。そして成果は形となって現れ、昨年12月の段階で全員の進路先が決定した。そして、気持ちにゆとりのある最後の学期を過ごし、3年間のまとめをすることができた。

ここで、この先もずっと付き合える仲間と出会えたと話す生徒が多い。本校での3年間は就職に向けた努力の日々ではあったものの、気の合う仲間と肩肘張らずに過ごせた時間だったと思う。社会に出れば苦労は多く、障害があることで嫌な思いをすることもあるだろう。どうか、諦めず、挫けず、そして誠実に生きてほしい。

人生を一日に置き換えると、君たちはまだ夜明け前、空が東雲色に染まりはじめる頃を歩んでいる。これから進む道は、自身の努力で切り拓いた道である。蒼穹に向かい、誇りと自信をもって前進する君たちを、私たちはずっと見守り応援している。

3年間ありがとう。卒業おめでとう。

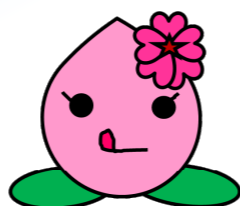


◇学校公認キャラクター「こもも」◇

食品加エコース「桃カフェ」のオリジナルキャラクター「こもも」がこの度、学校の公認マスコットキャラクターになりました。

「こもも」は2017年9月のカフェのリニューアルオープンに向けて、カフェの名称とオリジナルキャラクターを全校生徒と教員に募集、投票を経て、2017年度卒業生水越陽菜さんの作品に決定しました。

「桃カフェ」では、商品のラベルやポイントカード、店内の装飾などに起用され、親しまれています。今後は、学校行事や書類関係等、様々な場面で学校をアピールしていく存在になっていくことが期待されます。



◇学校とコロナ禍◇

今年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休校からのスタートとなりました。生徒の皆さんが安心して学校生活を送れるように、「健康チェック」「手洗い・手指消毒」「こまめな清掃」「こまめな換気」「距離をとる」「咳エチケット（マスクの着用）」「十分な睡眠」「バランスのとれた食事」「適度な運動」という9つのキーワードによるガイドラインを作成し、感染予防に努めてきました。生徒たちも保健委員を中心に主体的に毎日の放送やポスターで呼びかけ、それに応じて感染予防を実行してきました。感染予防の徹底と学習活動の充実をどう両立させるのか試行錯誤しながらコロナとともに歩んだ一年でしたが、その中で生徒の皆さんは、睡眠・食事・運動を基本に、自分自身の体を健康に保ち免疫力を高めていくことの基礎を身に付けることができたと思います。



INFORMATION TOKADAI

多くの企業様から、新型コロナウイルスの感染予防に係るグッズを寄贈していただき、活用させていただいています。ありがとうございました。

- NPO 法人ジット様：ティッシュペーパー ■ 笹一酒造株式会社様：消毒用アルコール
- 笛吹市：消毒用スプレー ■ 松山油脂株式会社様：クリーンジェル、ハンドソープ
- 山梨銘醸株式会社様：消毒用アルコール



◇検定等の取り組みを通して◇

今年も多くの生徒が、アビリンピック・障害者職業能力検定にチャレンジしました。専門教科の時間や昼休み等の時間を使って練習を積み重ね、上位入賞、検定合格を目指しました。また、所属している専門コースの検定にこだわらず、果敢にチャレンジしている生徒もいました。何かに向かって「挑戦」する姿は、周りを元気にする力がありますね。これからも自分の力を試す機会として積極的に取り組んでください。

◇第32回山梨県障害者技能協議会◇

(アビリンピックやまなし2020) 10/4の結果

- データ入力 : 銀賞・銅賞
- オフィスアシスタント : 金賞
- ビルクリーニング : 金賞 銀賞
- 喫茶サービス : 金賞・銀賞・銅賞



◇令和2年度 山梨県障害者職業能力検定結果◇

検定名	種目名	受検者数	初級	中級	上級
接客サービス	喫茶サービス	14	—	14	—
事務アシスタント	文書発送作業	33	14	5	3
ビルクリーニング	清掃基本作業	45	14	14	14
	掃除機・湿式モップ ガラス拭き・床拭き作業	10	—	—	10
食品加工	食品基本作業	12	1	4	7
農業生産	農業基本作業	33	—	10	23
合計		147	29	47	57